

2022 春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.7 中央集会 アピール

われわれは本集会において、「未来をつくる。みんなでつくる。」というスローガンのもと、2022 春季生活闘争を最後まで粘り強く闘い抜く決意を改めて確認した。

現在、すべての組合が、要求に沿った回答引き出しをめざし、精力的に交渉を進めている。

わが国は 20 年以上にわたりデフレ経済から抜け出せずにいる。そこにコロナ禍が直撃し、多くの働く仲間が深刻な影響を受けている。この現状を私たち労働組合がけん引役となって変えていかなければならない。そのためには、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を何としても実現する必要がある。

あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を構築し、将来への不安を払拭することができるよう、私たちの求める政策・制度の実現に向けた取り組みを強力に推進していく。

2022 春季生活闘争はいよいよヤマ場を迎える。

労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。

すべての労働者への「人への投資」こそが、職場の、企業の、そして日本のみんなの未来をつくる。この断固たる決意をもって、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2022 年 3 月 7 日

連合「2022 春季生活闘争 政策・制度 要求実現 3.7 中央集会」